

## 第2章 高齢者の交通事故に関する統計の整理

### 1. 全年齢層での交通事故死亡者数の推移

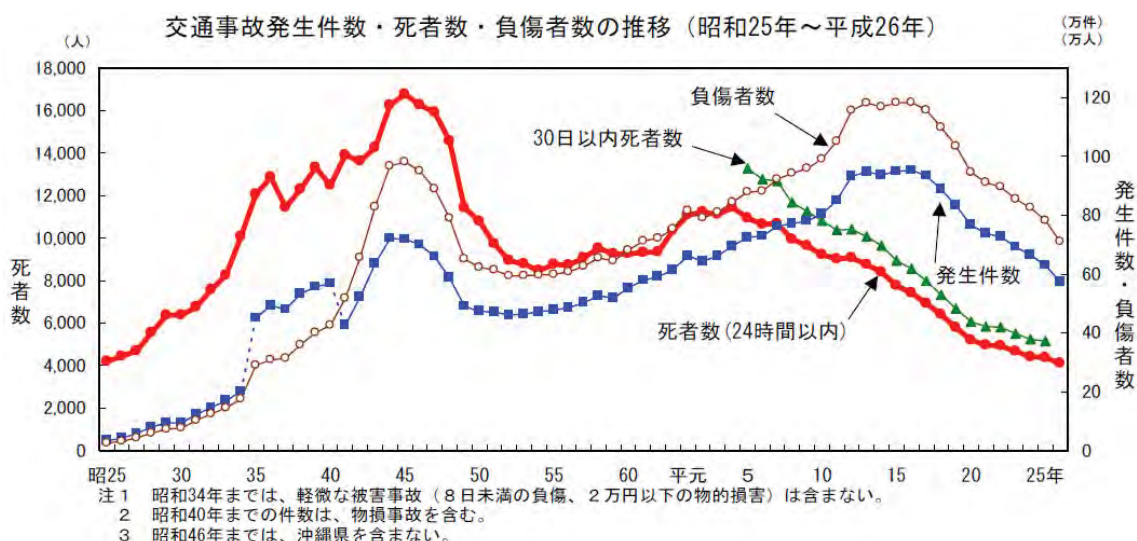
交通事故発生件数、死者数、負傷者数の推移

道路交通事故死者数は、昭和20年代後以降、とりわけ昭和30年代から昭和40年代半ばにかけて著しく増加し、昭和45年のピーク時には16,756人に達した。

その後、減少に転じ、昭和54年には8,466人となったものの再び増勢に転じ、平成4年に11,452人と二度目のピークを迎えたが、その後は減少傾向となった。平成21年には交通事故者数は4,968人となり、昭和27年以来57年ぶりに5,000人を下回った。

以後も減少傾向は続き、平成26年には4,113人と14年連続の減少となり、昭和45年当時の4分の1以下の水準に低下している。

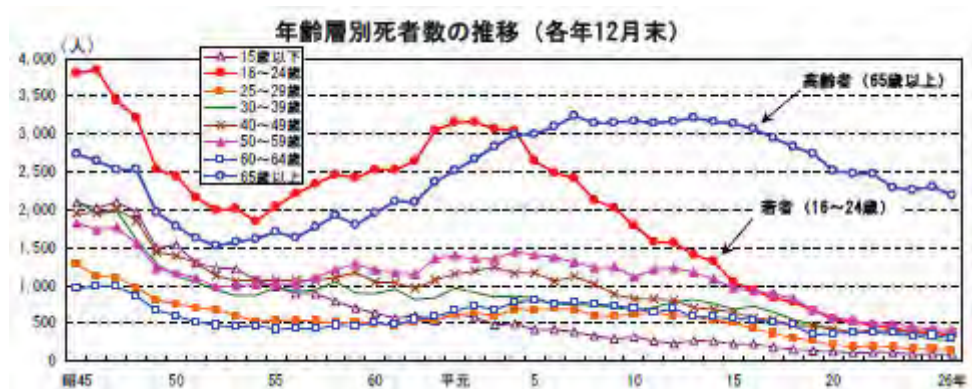
図表2-1 道路交通事故による交通事故発生件数、死者数および負傷者数



資料) 警察庁「平成26年中の交通事故死者数について」（平成27年1月5日）

全体の交通事故死者数が減少する中で、65歳以上の高齢者死者数も減少傾向にあるが、平成25年には増加し、平成26年に再び減少に転じた。平成26年の交通事故死者数4,113人中、高齢者は2,193人であり、53.3%を占めている。

図表2-2 年齢層別交通事故死者数の推移



○年齢層別死者数の推移（各年12月末）

年齢層別	年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増減数	増減率	構成率	指数
15歳以下	15歳以下	226	184	158	134	127	112	113	114	92	94	84	-10	-10.6	2.0	37
	16~19歳	423	325	364	305	261	228	196	197	171	176	164	-12	-6.8	4.0	39
	20~24歳	514	508	415	367	291	294	274	242	212	198	174	-24	-12.1	4.2	34
16~24歳	937	833	779	672	552	522	470	439	383	374	338	-36	-9.6	8.2	36	
25~29歳	426	367	307	270	213	186	200	186	157	157	144	-13	-8.3	3.5	34	
30~39歳	723	648	550	482	430	376	384	349	340	289	263	-26	-9.0	6.4	36	
40~49歳	571	543	475	461	418	385	405	411	386	395	381	-14	-3.5	9.3	67	
50~59歳	921	892	824	676	577	532	498	488	452	420	411	-9	-2.1	10.0	45	
60~64歳	550	509	476	345	363	376	376	385	337	341	299	-42	-12.3	7.3	54	
65歳以上	65~74歳	1,323	1,250	1,160	1,101	987	929	916	811	776	852	798	-54	-6.3	19.4	60
	75歳以上	1,748	1,701	1,674	1,641	1,530	1,550	1,560	1,480	1,488	1,451	1,395	-56	-3.9	33.9	80
65歳以上	3,071	2,951	2,834	2,742	2,517	2,479	2,476	2,291	2,264	2,303	2,193	-110	-4.8	53.3	71	
合計	7,425	6,927	6,403	5,782	5,197	4,968	4,922	4,663	4,411	4,373	4,113	-260	-5.9	100.0	55	
高齢者構成率	41.4	42.6	44.3	47.4	48.4	49.9	50.3	49.1	51.3	52.7	53.3	-	-	-	129	
(再掲)																
20~29歳	940	875	722	637	504	480	474	428	369	355	318	-37	-10.4	7.7	34	
70歳以上	2,490	2,384	2,316	2,248	2,070	2,060	2,072	1,949	1,930	1,929	1,802	-127	-6.6	43.8	72	

注1 増減数(率)は、平成25年と比較した値である。

2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

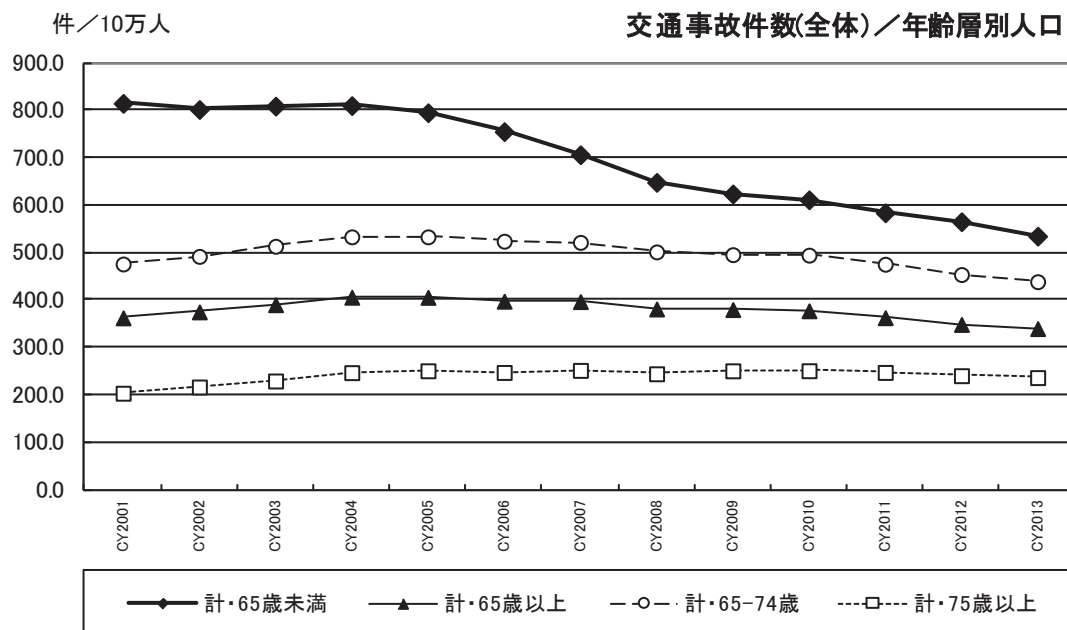
資料) 警察庁「平成26年中の交通死亡事故の特徴及び道路交通法違反取締り状況について」  
(平成27年2月19日)

以下では、交通事故総合分析センター『交通統計』平成25年版に基づき、高齢者の交通事故を整理する。

## 2. 高齢者の交通事故件数

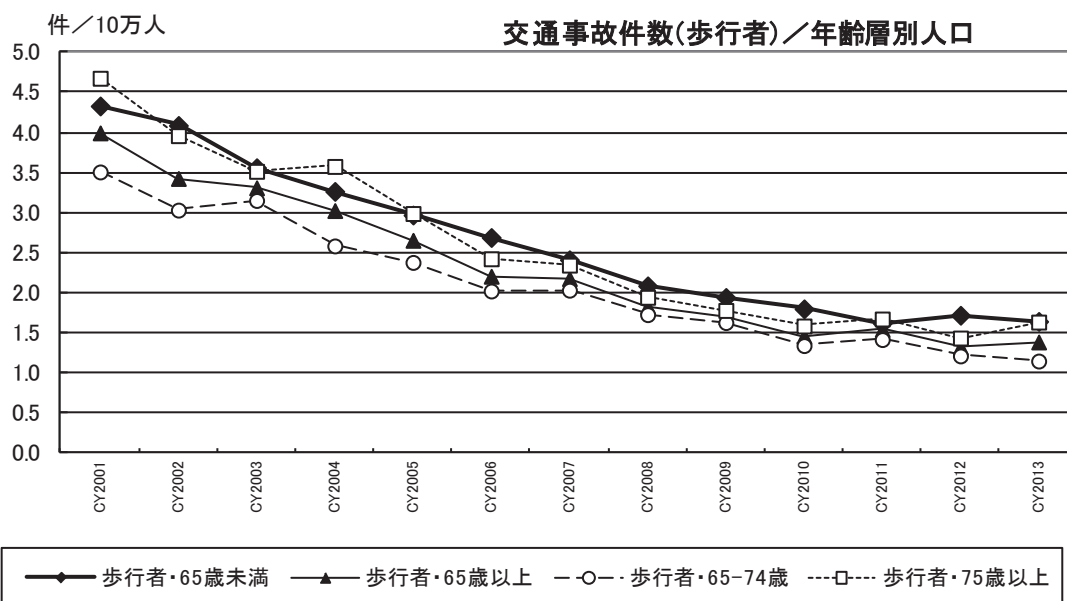
- ・高齢者の人口 10 万人当たり交通事故件数（第 1 当事者）割合は、65 歳未満階級に比べて低い。
- ・65-74 歳階級の事故率は、75 歳以上階級に比べると高い。
- ・事故率は 65 歳未満階級が顕著に低化しているが、75 歳以上の高齢者はほぼ横ばいである。

図表 2-3 年齢階級別・人口 10 万人当たり交通事故件数（第 1 当事者）



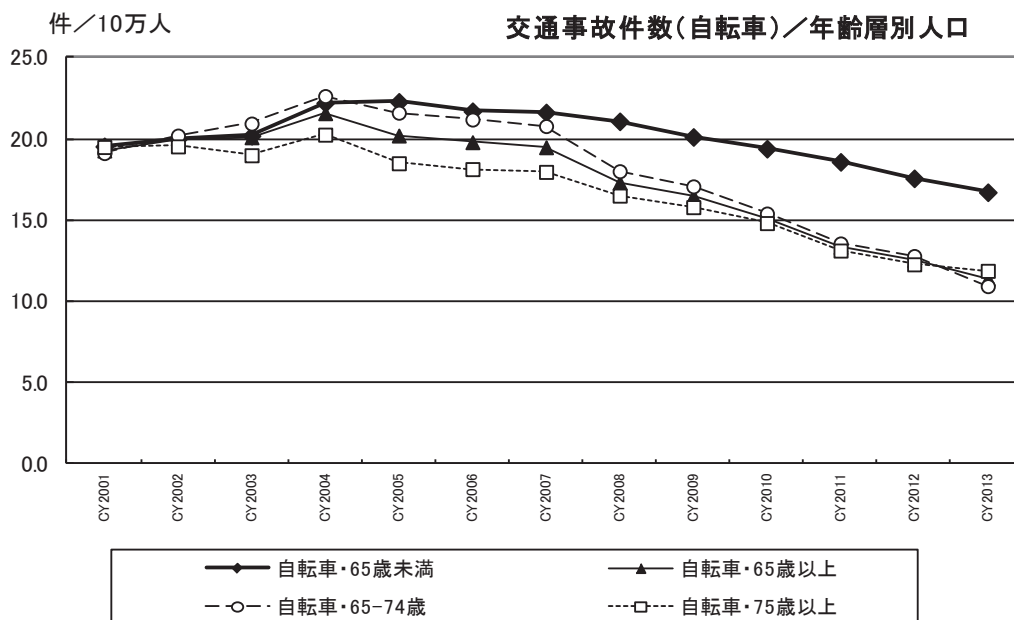
- ・高齢者の人口 10 万人当たり歩行者交通事故件数（第 1 当事者）の割合は、65 歳未満階級とほぼ同様に低下傾向にある。
- ・75 歳以上階級の事故率の割合は 65-74 歳階級に比べ、一貫して高い。

図表 2-4 年齢階級別・人口 10 万人当たり歩行者交通事故件数（第 1 当事者）



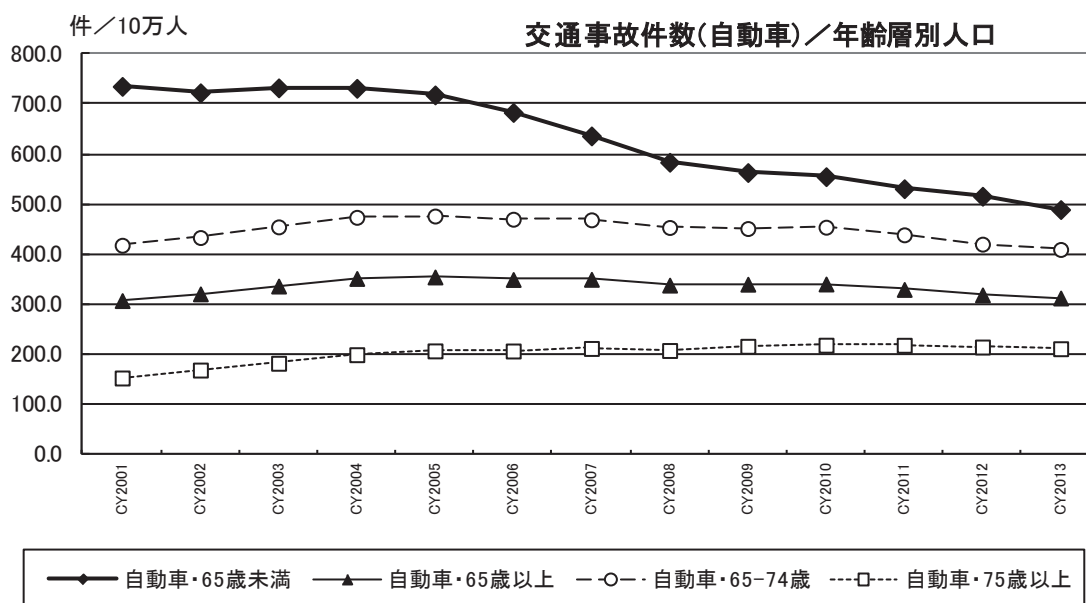
- ・高齢者の人口 10 万人当たり自転車乗用中交通事故件数（第 1 当事者）の割合は、65 歳未満階級に比べ、かつてはほぼ同割合であったが、現在では低くなっている。
- ・特に、2007 年以降、高齢者での事故率低下が大きい。

図表 2-5 年齢階級別・人口 10 万人当たり自転車乗用中交通事故件数（第 1 当事者）



- ・高齢者の人口 10 万人当たり自動車乗車中交通事故件数（第 1 当事者）割合は、65 歳未満階級に比べて低い。
- ・65-74 歳階級の事故率は、75 歳以上階級に比べると高い。
- ・事故率は 65 歳未満階級が顕著に低化しているのに対して、65-74 歳階級は横ばいからわずかに低下、75 歳以上の高齢者ではほぼ横ばいである。

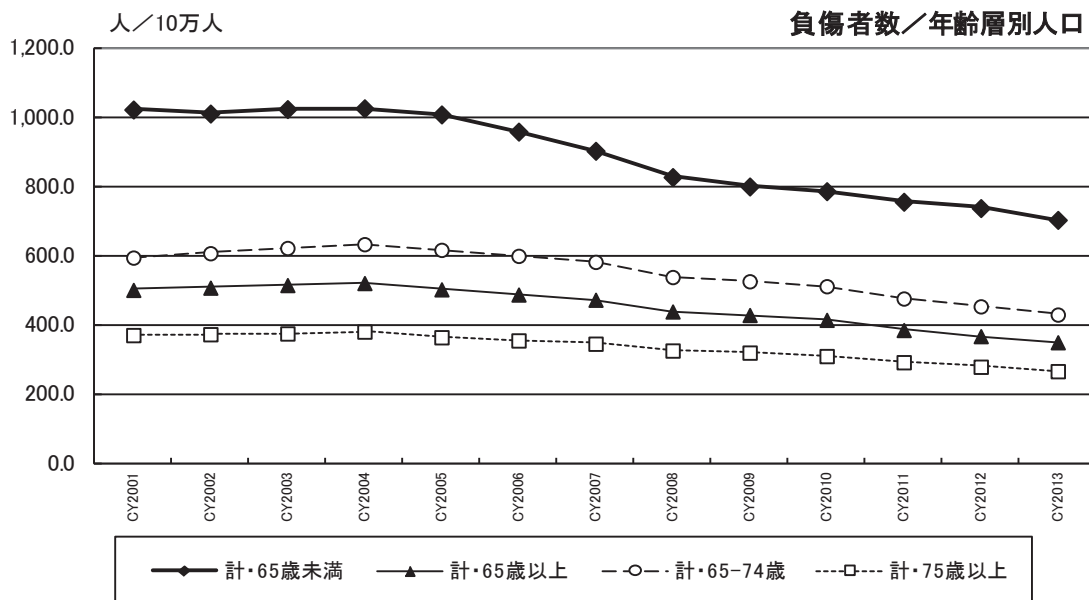
図表 2-6 年齢階級別・人口 10 万人当たり自動車乗車中交通事故件数（第 1 当事者）



### 3. 高齢者の交通事故負傷者数

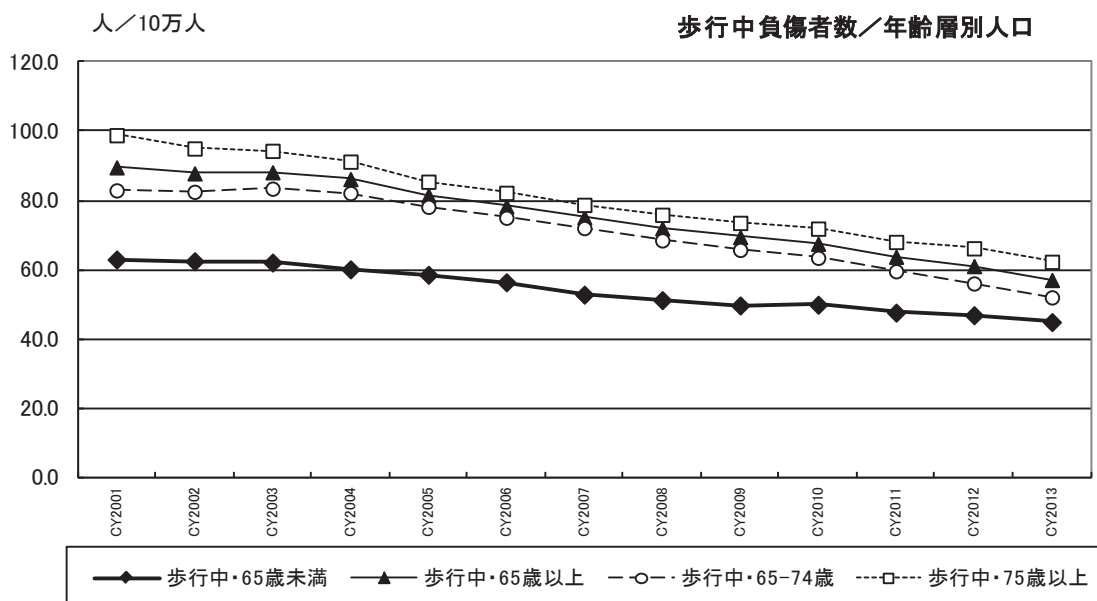
- ・高齢者の人口 10 万人当たり交通事故負傷者数割合は、65 歳未満階級に比べて低い。
- ・65-74 歳階級の負傷者数割合は、75 歳以上階級に比べると高い。
- ・高齢者の負傷者数割合の低下率は、65 歳未満階級に比べて緩やかである。

図表 2-7 年齢階級別・人口 10 万人当たり交通事故負傷者数割合



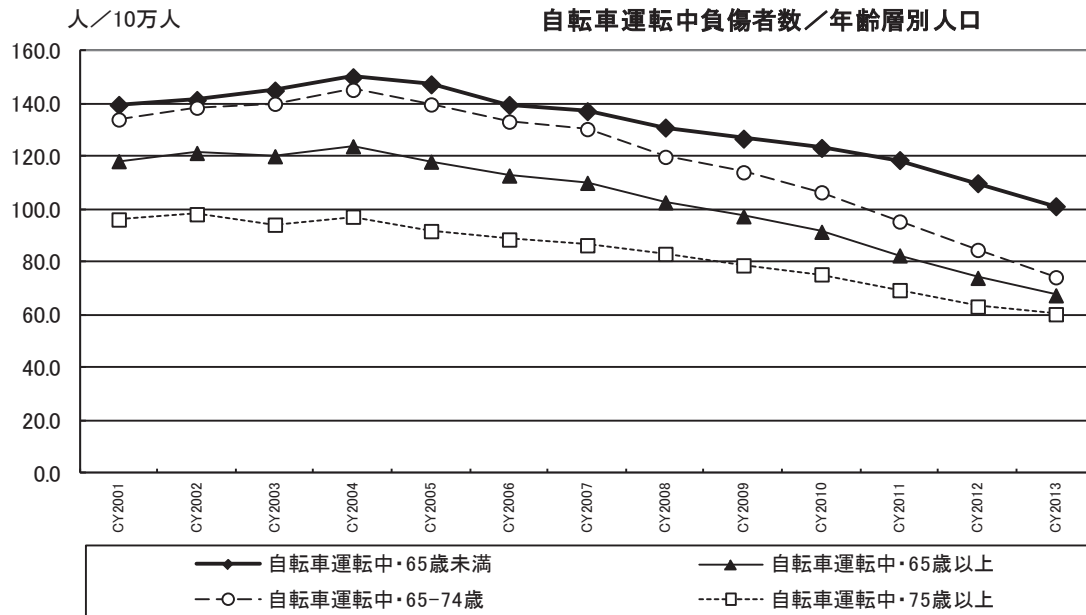
- ・高齢者の人口 10 万人当たり交通事故歩行中負傷者数割合は、65 歳未満階級に比べて高い。
- ・75 歳以上階級の歩行中負傷者数割合は、65-74 歳階級に比べると高い。
- ・高齢者の歩行中負傷者数割合の低下率は、65 歳未満階級よりも大きい。

図表 2-8 年齢階級別・人口 10 万人当たり歩行中の交通事故での負傷者数割合



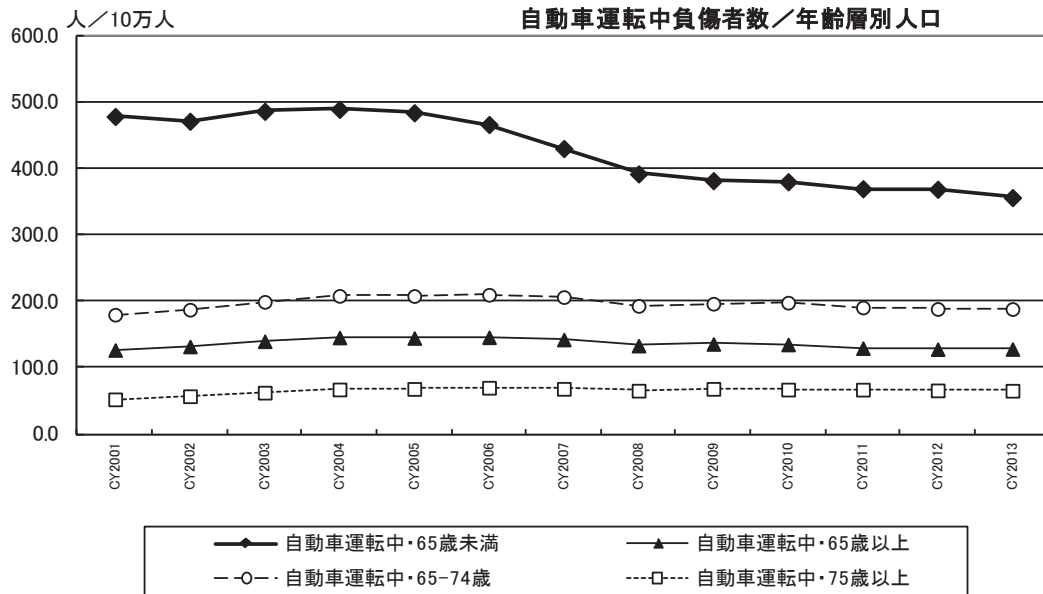
- ・高齢者の人口 10 万人当たり交通事故自転車運転中負傷者数割合は、65 歳未満階級に比べて低い。
- ・65-74 歳階級の自転車運転中負傷者数割合は、65 歳未満階級の動きとほぼ同じであるが、2007 年以降の低下率は、65 歳未満階級よりも大きい。
- ・65-74 歳階級の自転車運転中負傷者数割合は、75 歳以上階級を上回っている。

図表 2-9 年齢階級別・人口 10 万人当たり自転車運転中の交通事故での負傷者数割合



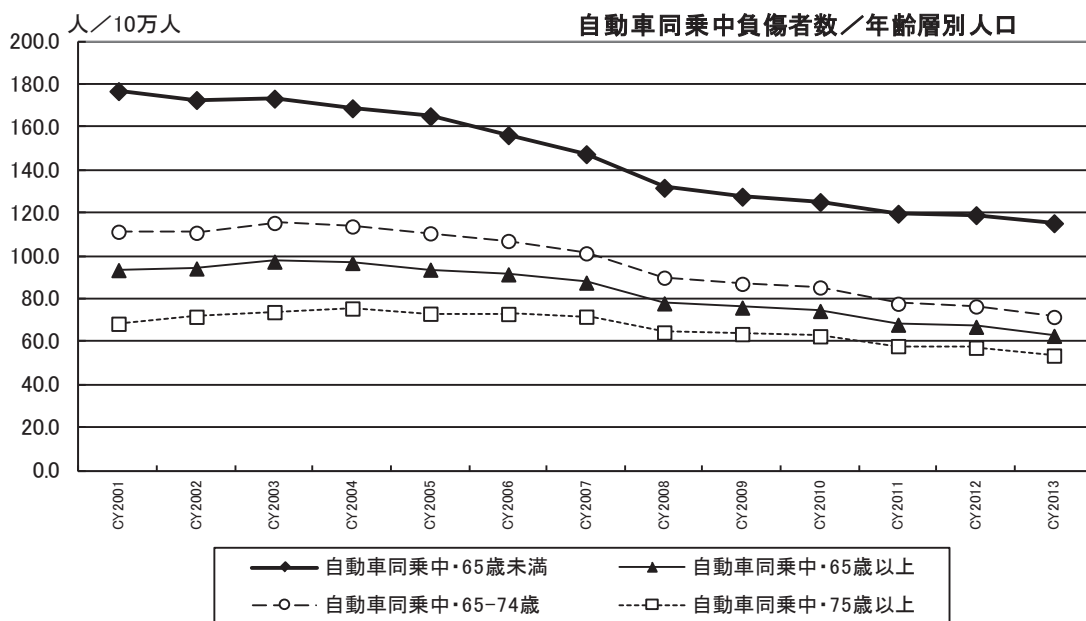
- ・高齢者の人口 10 万人当たり交通事故自動車運転中負傷者数割合は、65 歳未満階級の 3 分の 1 程度である。
- ・ただし、65 歳未満階級が人口 10 万人当たり交通事故自動車運転中負傷者数割合を徐々に低下させているのに対して、高齢者の人口 10 万人当たり交通事故自動車運転中負傷者数割合は横ばいである。
- ・65-74 歳階級の自動車乗車運転中負傷者数割合は、常に 75 歳以上階級よりも高い。

図表 2-10 年齢階級別・人口 10 万人当たり自動車運転中の交通事故での負傷者数割合



- ・高齢者の人口 10 万人当たり交通事故自動車同乗中の負傷者数割合は、65 歳未満階級に比べて半分程度である。
- ・ただし、負傷者数割合は、65 歳未満階級の低化よりも緩やかである。
- ・65-74 歳階級の自動車同乗中負傷者数割合は、常に 75 歳以上階級を上回っている。

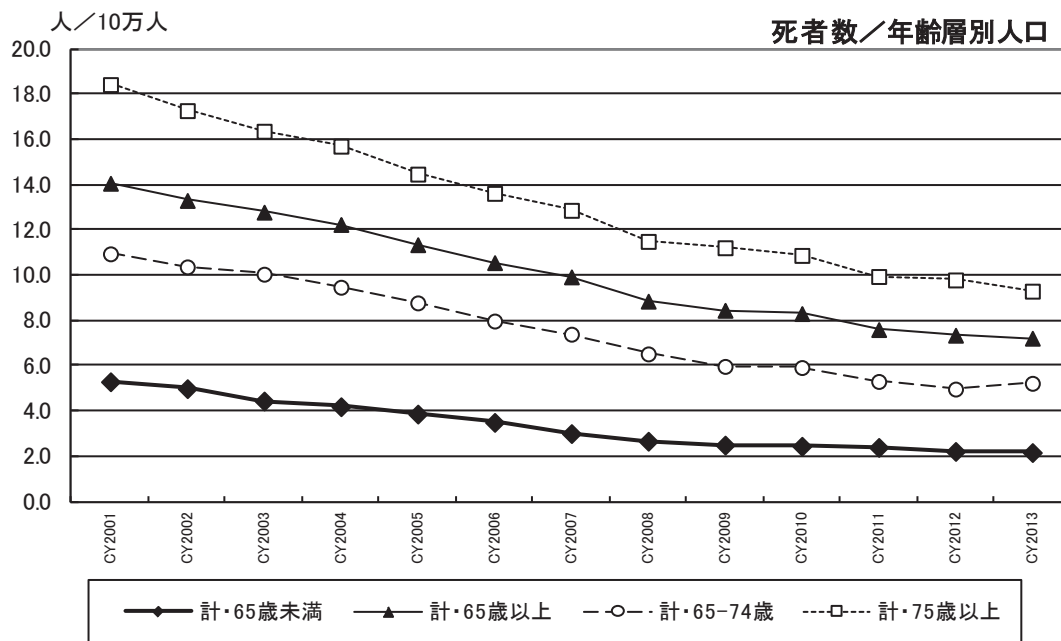
図表 2-11 年齢階級別・人口 10 万人当たり自動車同乗中の交通事故での負傷者数割合



#### 4. 高齢者の交通事故死者数

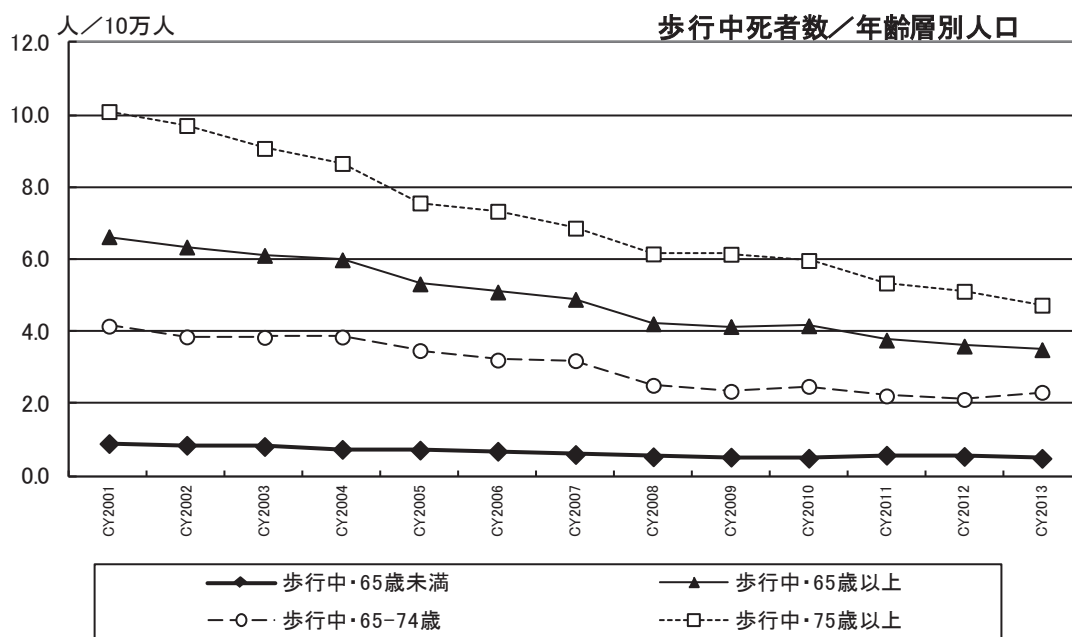
- ・ 高齢者の人口 10 万人当たり交通事故死者数割合は、65 歳未満階級に比べ約 3 倍以上高い。
- ・ 特に、75 歳以上階級の死者数割合が高い（65 歳未満階級の約 4 倍）。
- ・ 75 歳以上階級の死者数割合は、65-74 歳階級の死者数割合を常に上回っている。

図表 2-12 年齢階級別・人口 10 万人当たり交通事故死者数割合



- ・ 高齢者の人口 10 万人当たり歩行中の交通事故死者数割合は、65 歳未満階級に比べ約 7 倍高い。ただし、低下率も大きい。
- ・ 特に、75 歳以上階級の死者数割合が高い。
- ・ 75 歳以上階級の死者数割合は、65-74 歳階級の死者数割合を 2 倍以上上回っている。

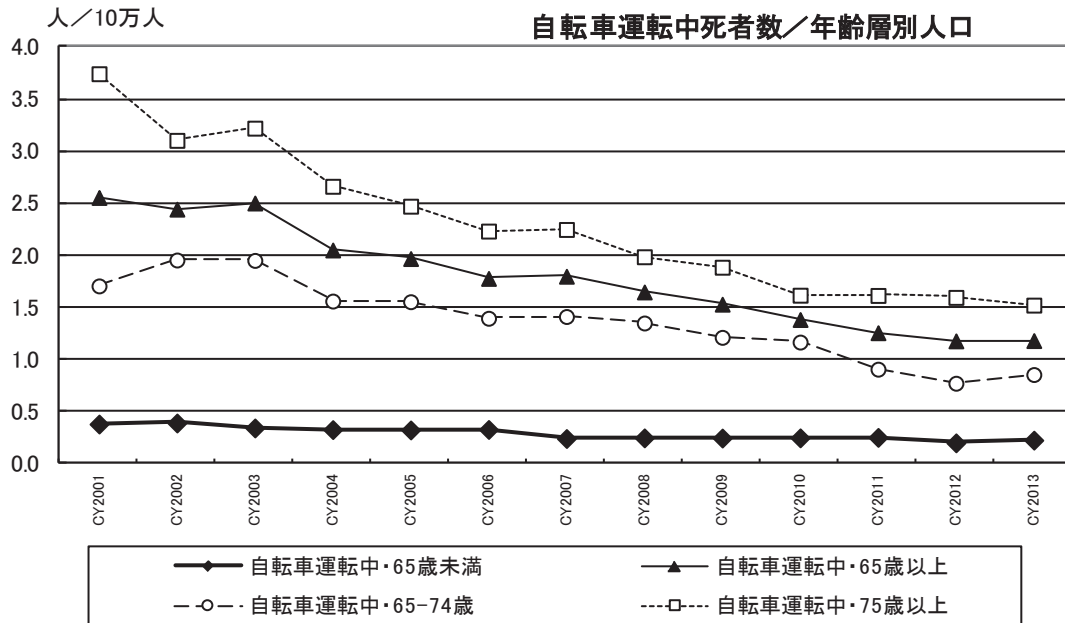
図表 2-13 年齢階級別・人口 10 万人当たり歩行中の交通事故死者数割合





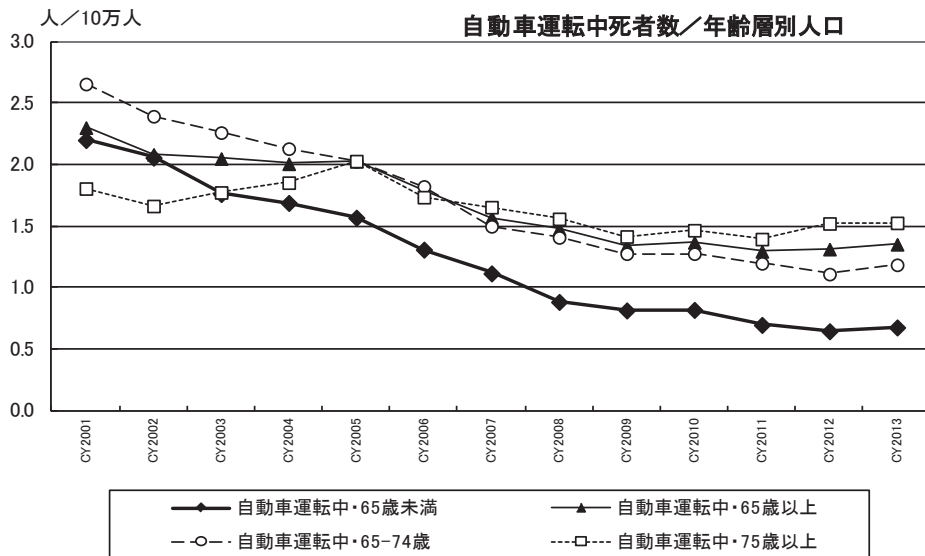
- ・高齢者の人口 10 万人当たり自転車運転中の交通事故死者数割合は、65 歳未満階級に比べ約 6 倍高い。ただし低下率も大きい。
- ・特に、75 歳以上階級の死者数割合が高い。
- ・75 歳以上階級の死者数割合は、65-74 歳階級の死者数割合を常に上回っている。

図表 2-14 年齢階級別・人口 10 万人当たり自転車運転中の交通事故死者数割合



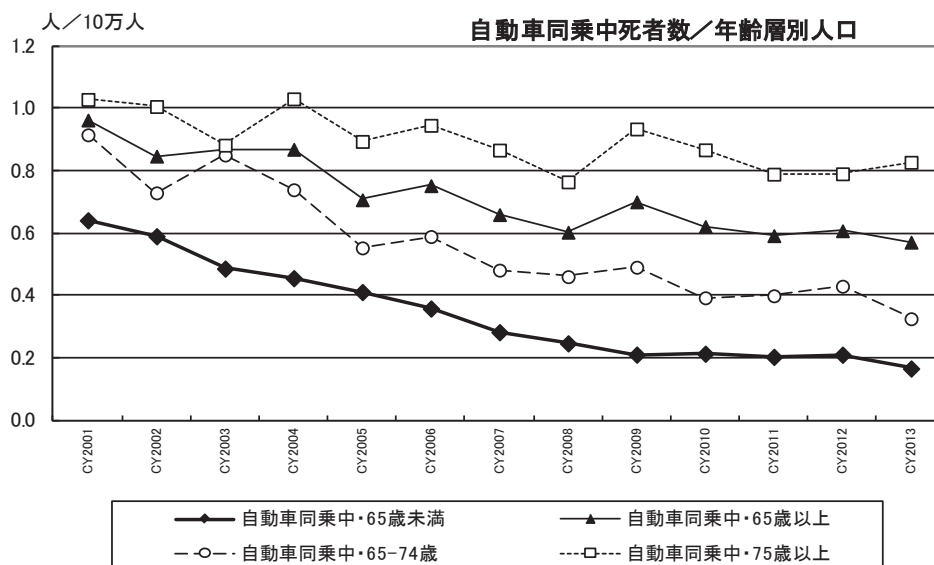
- ・高齢者の人口 10 万人当たり自動車運転中の交通事故死者数割合は、65 歳未満階級に比べ約 2 倍高い。
- ・特に、75 歳以上階級の死者数割合が高く、低下率も他の年齢階級に比べ緩やかであり、近年に限れば、横ばいからやや上昇傾向にある。
- ・65-74 歳階級の死者数割合は、かつては 75 歳以上階級を上回っていたが、その割合は低下しつつあり、現在では 75 歳以上階級の死者数割合を下回っている。

図表 2-15 年齢階級別・人口 10 万人当たり自動車運転中の交通事故死者数割合



- ・高齢者の人口 10 万人当たり自動車同乗中の交通事故死者数割合は、65 歳未満階級に比べ約 3 倍高い。低下率は 65 歳未満階級よりも緩やかである。
- ・特に、75 歳以上階級の死者数割合が高く、低下率も他の年齢階級に比べ緩やかであり、近年に限れば、横ばいからやや上昇傾向にある。
- ・65-74 歳階級の死者数割合は、65 歳未満階級と同様に減少しつつあるが、近年は横ばいである。

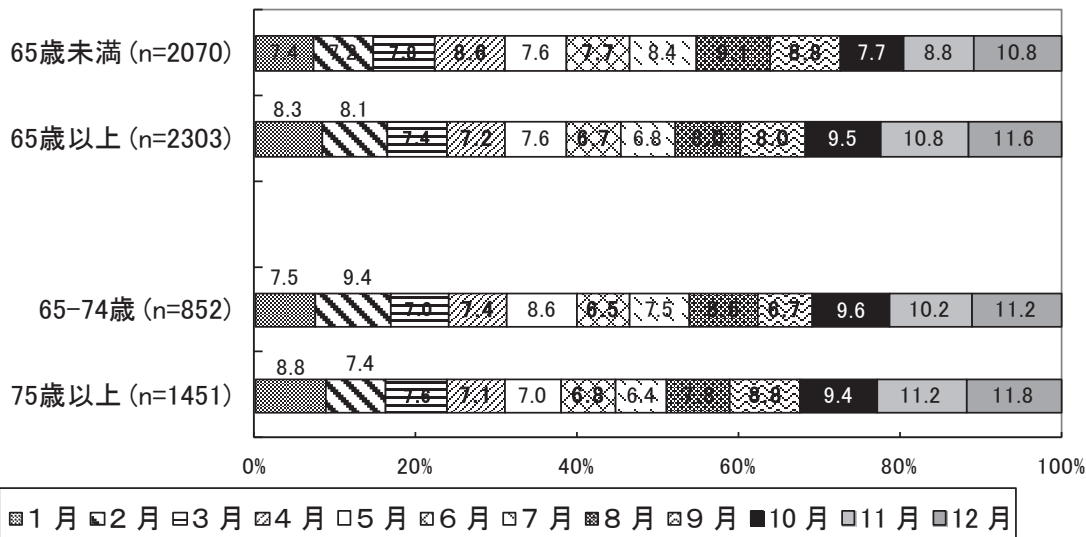
図表 2-16 年齢階級別・人口 10 万人当たり自動車同乗中の交通事故死者数割合



## 5. 月別・曜日別高齢者の交通事故死者数

・65歳未満では、夏に交通事故死者数割合が高いのに対して、高齢者は秋～冬にかけて交通事故死者数割合が高い。

図表 2-17 年齢階級別・月別交通事故死者数（平成 25 年）



・65歳未満では、土日に交通事故死者数割合が高いのに対して、高齢者は平日の交通事故死者数割合が高い。

図表 2-18 年齢階級別・曜日別交通事故死者数（平成 25 年）

